

針金 勝彦

平政会

生活保護の改善に向けた自立支援策

【問】全834受給世帯のうち稼働能力がある受給者が280人であるが、市としても就労支援員を配置し、今まで以上に自立支援策を推進する必要がある。現在の状況と成果は。

【答】市では就労による自立を図るため、就労支援員を23年度に2名配置し、ケースワーカー等と連携しながら就労支援に努めている。23年度は108名を対象に支援したところ、雇用情勢の大幅な改善が見られない中、12名が新規就労し5世帯が廃止となり、少しづつ成果があらわれているので今後も積極的に取り組みたい。

風力発電への対応

【問】市の活性化につながる取り組みとして買い取り価格・調達期間が答申され、自治体風力の詳細が判明した風力発電に対して、今後どのように進めていくのか。

【答】7月2日より東北電力で受け付ける「自治体風力」に向け5月31日から事業者及び企画提案の公募を行い、6月下旬に選定候補者を決定した後、申し込みを行ってもらう予定である。地元企業等が主体で行う発電事業は市の最重要課題への取り組みであり発電事業運営会社への資本参加等も視野に入れ、事業推進を図りたい。

その他の質問事項

- 生活保護の中間取りまとめに対して
- 生活保護の不正受給への取り組み
- 鉱さい跡地をメガソーラー発電に

庄司 紘八

よねしろ会

津波避難経路（清助町）

【問】昨年の津波避難訓練で感じたのが、海に向かって波に向かっただけの避難は困難ではないかということである。清助町の前後は能代公園であり公園に向かつて3〜4本の避難路を。

【答】昨年5月26日の能代市総合防災訓練では能代公園への避難行動とともに、近隣住民の共助の訓練も同時に行うため、避難経路を指定したことから、津波に向かっただけの避難する形になったところも一部あった。実際の津波の際の避難については、3方向の経路が確保されており、訓練とは別に住民の皆様と確認している。

リサイクルポット能代港の現状と見通し

【問】(株)能代港リサイクルセンターが設立されてから2年が過ぎた。当初の計画どおりに推移しているか。また、今後の見通しはどうか。港に建設された施設の利用状況は。

【答】汚染土壌は都市圏での建設工事の減少、法改正による場外搬出への制約の付加、現地浄化処理技術の進歩等から、施設利用の実績がない状況が続いている。石炭灰、金属くずは継続的に利用されている。取り組みいかんでは拠点港になれると認識している。荷主企業の施設利用は順調に推移している。

その他の質問事項

- 公共事業の発注時期
- 議事堂解体
- 風の松原陸上競技場

信太 和子

市民連合

庁舎整備

【問】市は「議事堂は原則解体の方針」としながら「文化財として保存活用すべき」との市民の声が高まれば、別途検討」とのこと。「市民の声の高まり」とはどのような状況を指すのか。

【答】「市民の声の高まり」とは、一概に数値等であらわせるものではないが、さまざまな立場の市民から意見が届けられることだと考えている。市の行政施策には、多くの市民の理解、合意が必要であり、議事堂についても、市民の声に耳を傾け、その高まりの判断を含め、議会の意見を聞きながら、対応方針を決定したい。

市営松山町・万町住宅建替事業

【問】住吉町住宅が供給開始された。引き続き松山町・万町住宅建てかえが計画される。まず、住吉町住宅の検証をすべきでは。市庁舎整備も控え、ハコモノ市政との市民批判もある。

【答】住吉町住宅建替事業に携わった企業のヒアリングや住吉町住宅完成時の一般見学会で意見を聞いている。今後、住吉町住宅入居者にアンケート調査し、一般見学会でのアンケート調査も含め、松山町住宅の基本設計に反映させたい。市民にとって必要な施設については、今後とも理解を得ながら整備を進めていきたい。

その他の質問事項

- 介護保険（今後の見直し）
- 省エネルギー（LED化と節電目標）
- 学校生活サポート事業